

## 小田原市の学校施設を取り巻く状況について

1. 学校施設の概要	
(1) 小中学校一覧、学校規模	… 1
(2) 学区と配置状況	… 2
2. 児童生徒数と学級数の推移	
(1) 市全体	… 3
(2) 地域別・学校別児童生徒数	… 4
(3) 支援を要する児童・生徒の状況	… 6
3. 現状のまとめ	… 7

# 1. 学校施設の概要

## (1) 小中学校一覧、学校規模

※1 建築年度は建物情報一覧の校舎棟の中で一番古い校舎の建築年度を記載しています  
 ※2 児童生徒数、学級数は令和3年5月1日現在

### ○小学校 (25校)

築後年数赤字：築40年以上、    ：小規模校（通常学級12学級未満）

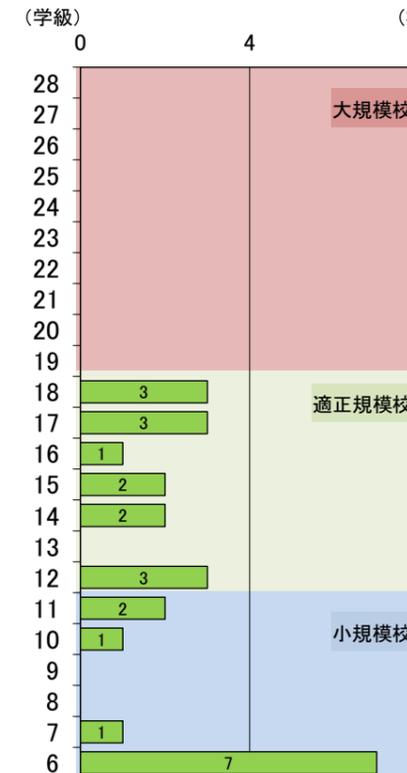
名称	住所	地域	校地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年度		築後年数	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
					西暦	和暦		通常学級	特別支援	通常学級	特別支援
1 三の丸小学校	本町1-12-49	中央	12,716	9,913	1995	H7	27	584	18	18	3
2 新玉小学校	浜町2-1-20	中央	12,364	5,539	1964	S39	58	155	11	6	2
3 足柄小学校	扇町3-21-7	中央	11,544	6,929	1972	S47	50	421	24	14	4
4 芦子小学校	扇町1-37-7	中央	13,084	8,291	1968	S43	54	462	19	15	4
5 大窪小学校	板橋985	中央	22,076	7,470	1993	H5	29	167	5	7	2
6 早川小学校	早川2-14-1	中央	12,433	4,336	1963	S38	59	141	7	6	2
7 山王小学校	東町2-9-1	中央	9,386	4,666	1969	S44	53	163	19	6	3
8 久野小学校	久野1561	中央	11,198	5,422	1973	S48	49	265	7	10	3
9 富水小学校	飯田岡481	富水・桜井	17,284	9,616	1965	S40	57	525	36	17	7
10 町田小学校	寿町2-7-25	中央	11,082	8,242	1980	S55	42	271	11	11	2
11 下府中小学校	酒匂930	川東南部	13,408	7,546	1978	S53	44	301	22	12	4
12 桜井小学校	曾比1943	富水・桜井	13,926	7,623	1966	S41	56	453	30	16	6
13 千代小学校	千代687	川東北部	12,648	6,082	1969	S44	53	520	22	17	4
14 下曾我小学校	曾我原333	川東北部	16,082	6,382	1989	S64	33	156	12	6	3
15 国府津小学校	国府津2485	川東南部	17,890	7,944	1969	S44	53	503	14	18	4
16 酒匂小学校	酒匂5-15-3	川東南部	16,958	7,657	1972	S47	50	315	20	12	5
17 片浦小学校	根府川534-1	片浦	10,316	3,957	1982	S57	40	83	4	6	2
18 曾我小学校	曾我大沢69	川東北部	11,868	4,691	1974	S49	48	91	6	6	2
19 東富水小学校	中曽根359-1	富水・桜井	12,810	7,243	1969	S44	53	411	28	14	5
20 前羽小学校	前川858	橘	9,714	5,150	1986	S61	36	126	9	6	2
21 下中小学校	小船178	橘	15,143	6,513	1981	S56	41	264	23	11	4
22 矢作小学校	矢作227	川東南部	14,151	6,877	1972	S47	50	496	25	17	4
23 報徳小学校	小台405	富水・桜井	16,935	5,830	1976	S51	46	314	10	12	2
24 豊川小学校	成田530-1	川東北部	20,267	6,722	1982	S57	40	600	20	18	5
25 富士見小学校	南鴨宮3-25-1	川東南部	16,672	8,328	1984	S59	38	455	27	15	6
小学校25校 計			351,955	168,969				8,242	429	296	90

### ○中学校 (11校)

築後年数赤字：築40年以上、    ：小規模校（通常学級12学級未満）

名称	住所	地域	校地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年度		築後年数	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
					西暦	和暦		通常学級	特別支援	通常学級	特別支援
1 城山中学校	城山3-4-1	中央	19,503	8,478	1970	S45	52	277	8	9	2
2 白鷗中学校	東町4-13-1	中央	18,636	6,528	1960	S35	62	271	13	9	2
3 白山中学校	扇町5-7-17	中央	26,884	9,326	1956	S31	66	524	13	15	3
4 城南中学校	板橋875-1	中央	25,948	4,752	1962	S37	60	179	6	6	2
5 鴨宮中学校	鴨宮547	川東南部	16,395	7,556	1960	S35	62	533	13	15	3
6 千代中学校	千代800	川東北部	16,426	8,126	1978	S53	44	503	24	15	4
7 国府津中学校	国府津2372	川東南部	14,636	6,495	1980	S55	42	273	11	9	2
8 酒匂中学校	酒匂3-4-1	川東南部	42,509	9,236	1982	S57	40	423	11	12	2
9 泉中学校	飯田岡22	富水・桜井	19,147	7,988	1966	S41	56	520	21	14	3
10 橘中学校	羽根尾410	橘	13,062	6,446	1966	S41	56	225	14	7	4
11 城北中学校	栢山2888	富水・桜井	19,380	8,192	1974	S49	48	419	9	12	2
中学校11校 計			107,366	36,640				1,784	53	54	12
学校施設36校 合計			459,321	205,609				10,026	482	350	102

### ○小学校学校規模 (通常学級)



### ○中学校学校規模 (通常学級)



- 小学校の延床面積の平均規模6,759㎡、中学校の延床面積の平均規模7,557㎡。
- 小学校は、築40年以上の学校が25校中20校で、そのうち12校が築50年以上経過している。
- 中学校は、11校全てが築40年以上で、そのうち7校が築50年以上経過している。
- 小学校は、25校中11校の学校で小規模校となっている。中学校も11校中5校が小規模校となっている。

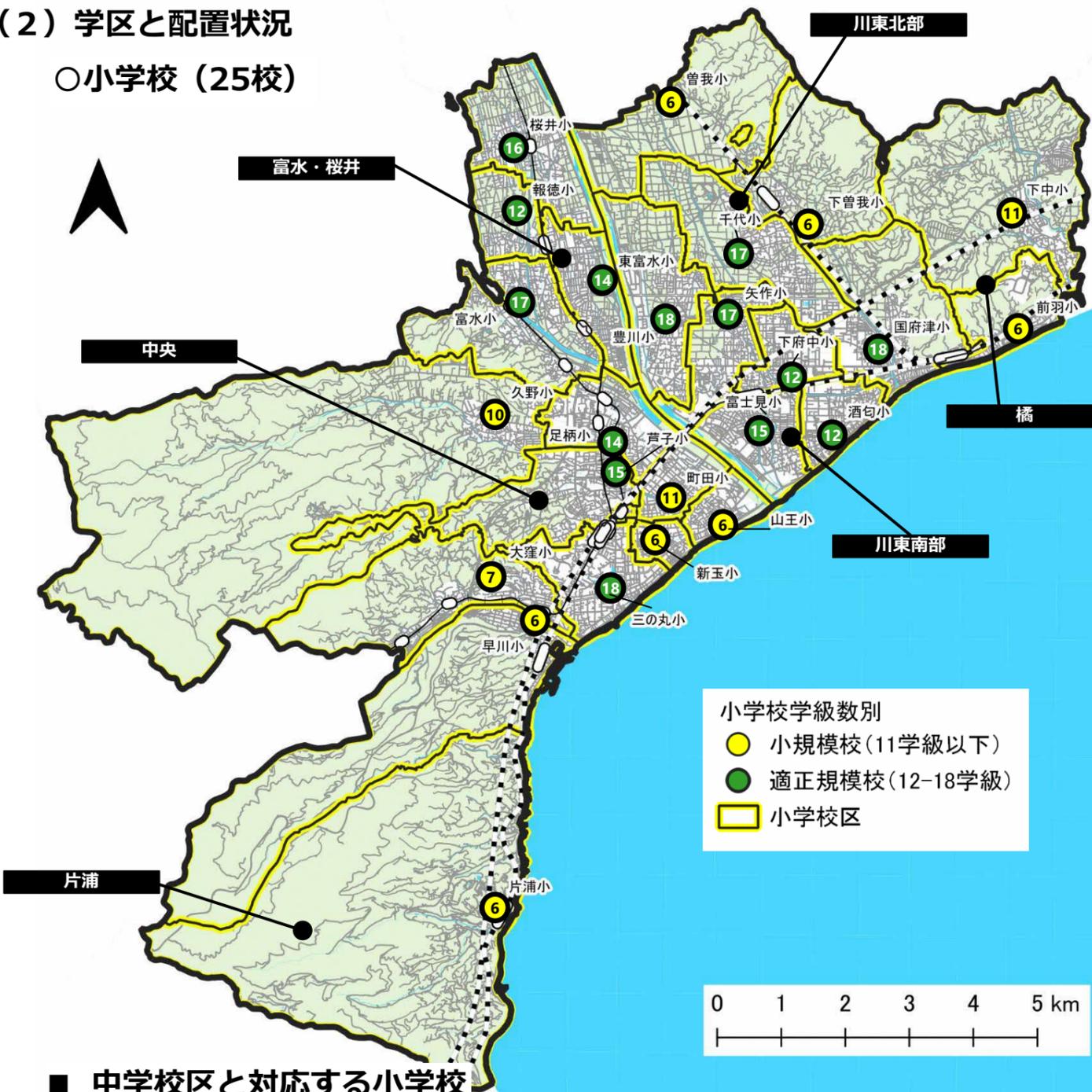
※12～18学級を適正規模（「学校教育法施行規則」）より）

出典：小田原市学校施設台帳（R3年度）  
建物情報一覧

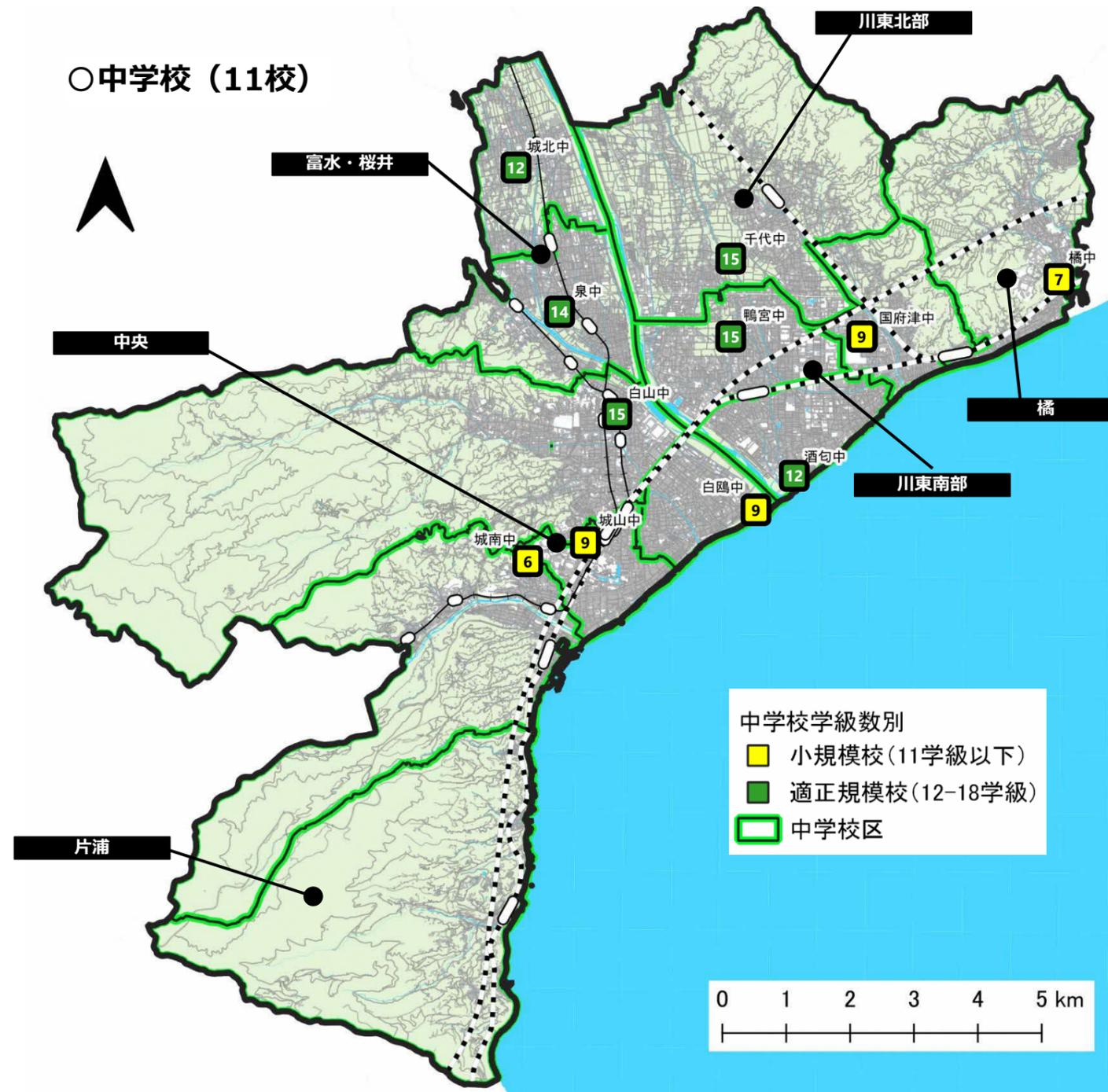
# 1. 学校施設の概要

## (2) 学区と配置状況

○小学校 (25校)



○中学校 (11校)



### ■ 中学校区と対応する小学校

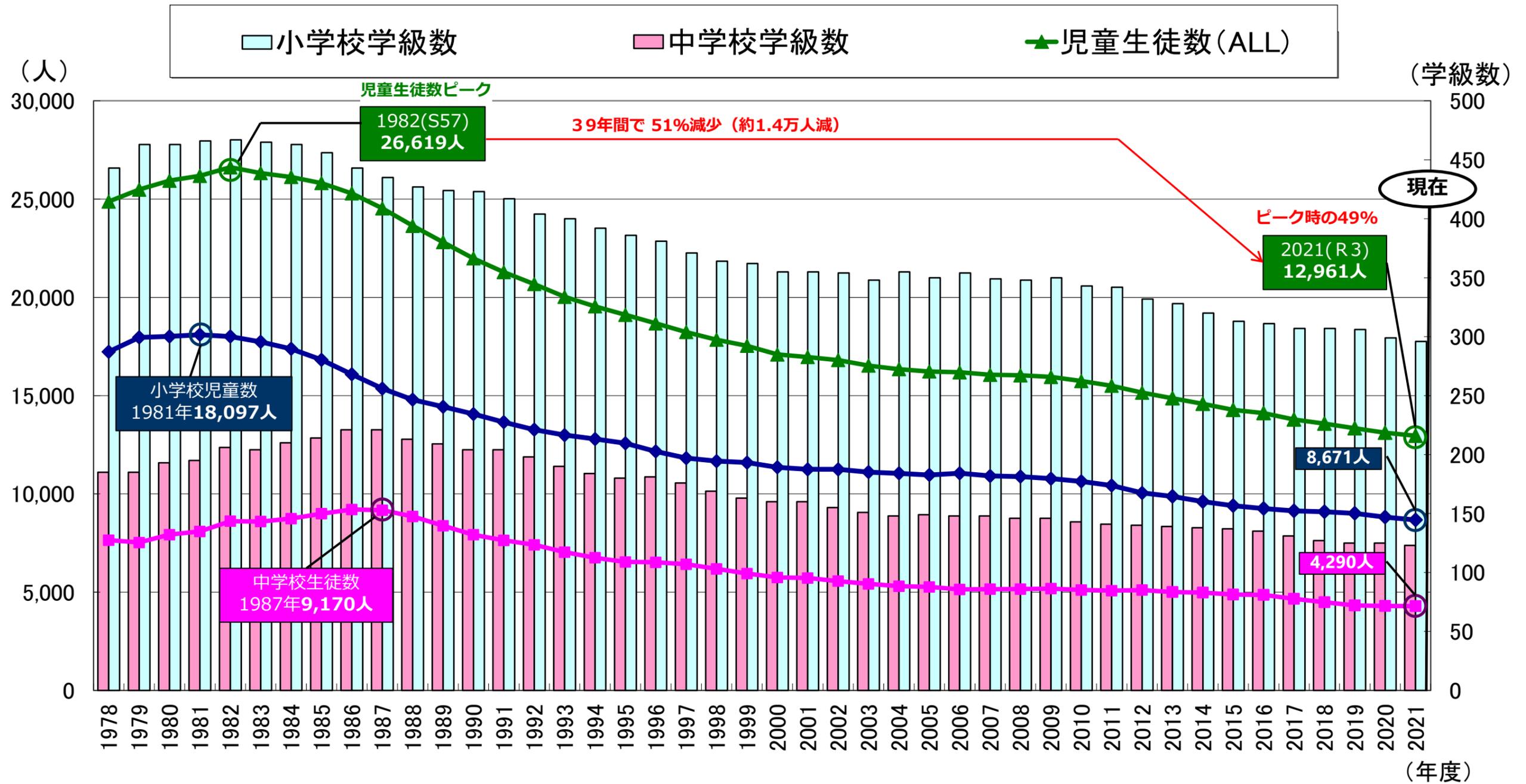
地域	中学校名	小学校名			
中央・片浦	城山中学校	三の丸	新玉 (一部)	芦子 (一部)	片浦
	白鷗中学校	新玉 (一部)	山王	町田	
	白山中学校	足柄	芦子 (一部)	久野	
富水・桜井	城南中学校	大窪	早川		
	泉中学校	富水	東富水		
川東南部	城北中学校	桜井	報徳		
	鴨宮中学校	下府中	矢作	豊川 (一部)	
	国府津中学校	国府津			
川東北部	酒匂中学校	酒匂	富士見		
	千代中学校	千代	下曾我	曾我	豊川 (一部)
橘	橘中学校	前羽	下中		

※学級数は令和3年5月1日現在

- 中央・片浦地域の学校のほとんどが小規模校となっている。
- 富水・桜井地域の全ての学校が適正規模校となっている。
- 川東北部地域は曾我小・下曾我小の2校のみ小規模校で、2校以外は全て適正規模校となっている。
- 川東南部地域は国府津中のみ小規模校で、国府津以外は全て適正規模校となっている。
- 橘地域は全ての学校が小規模校となっている。
- 新玉小、芦子小、豊川小は小学校区と中学校区が連動しておらず、2つの中学校区に分かれている。

## 2.児童生徒数と学級数の推移

### (1) 市全体（特別支援学級含む）



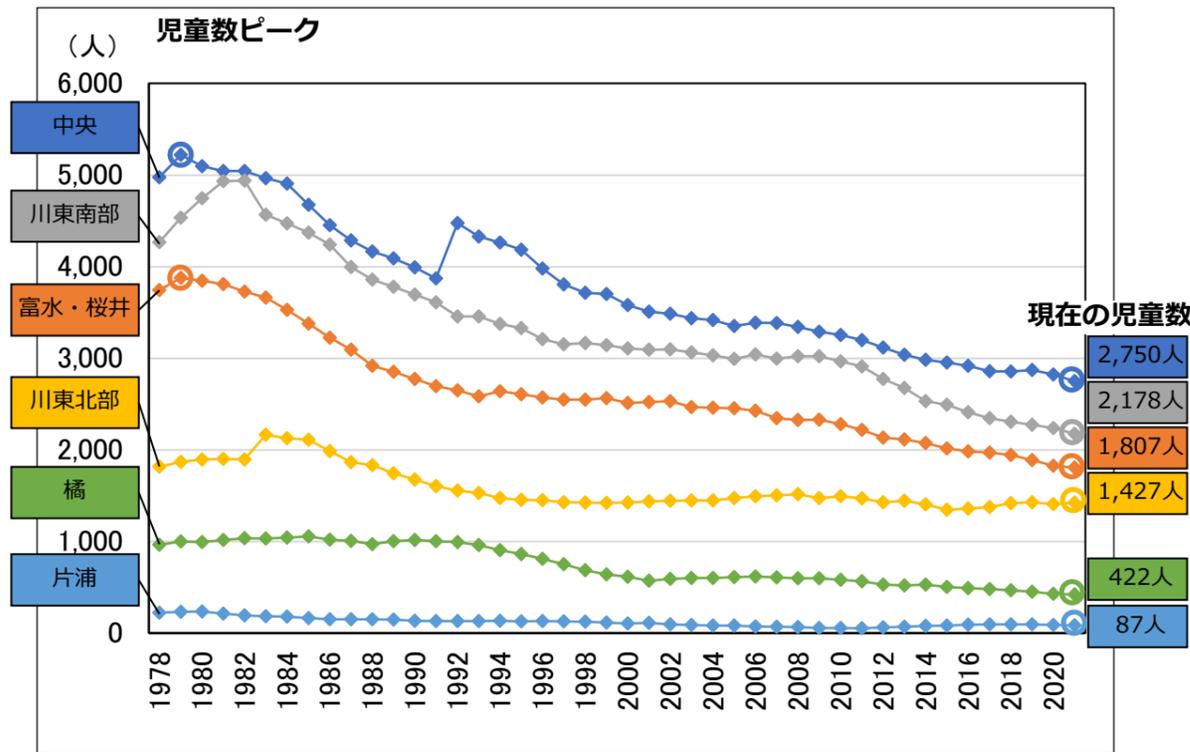
- 児童生徒数は、1982（S57）年度の2万6,619人をピークに、2021（R3）年度はピーク時の49%、1万2,961人となっている。39年間で約1.4万人減少している。
- 小学校児童数は、1981（S56）年度1万8,097人をピークに、2021（R3）年度はピーク時の48%、8,671人となっている。40年間で9,426人減少している。
- 中学校生徒数は、1987（S62）年度9,170人をピークに、2021（R3）年度時点で4,290人、ピーク時の47%となっている。35年間で4,880人減少している。

## 2.児童生徒数と学級数の推移

### (2) 地域別・学校別児童生徒数

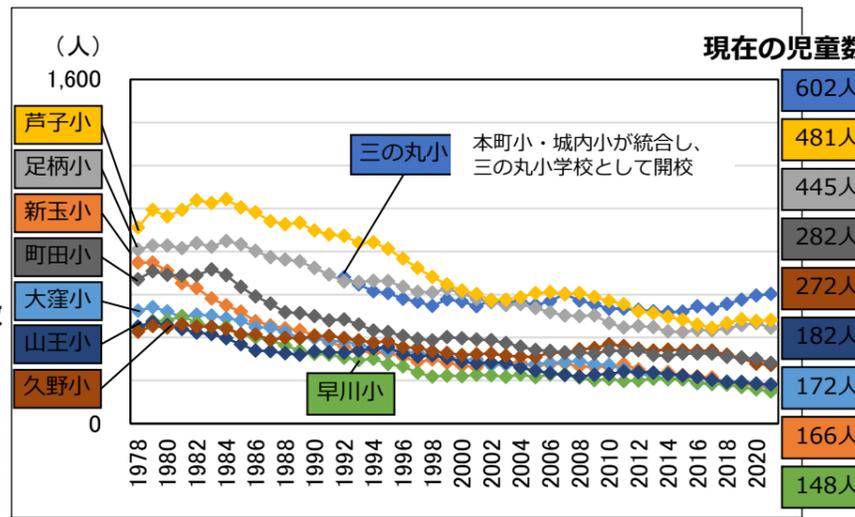
#### ① 小学校

##### ■ 地域別児童数

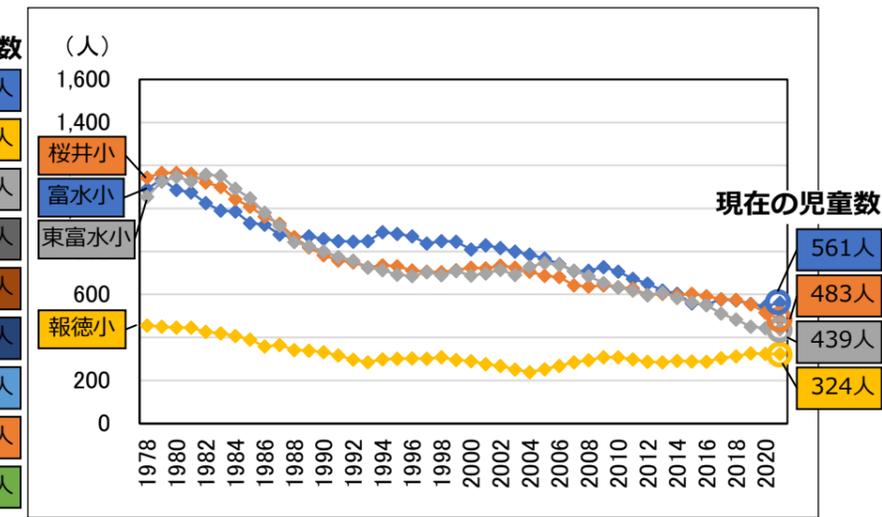


##### ■ 地域別学校別児童数

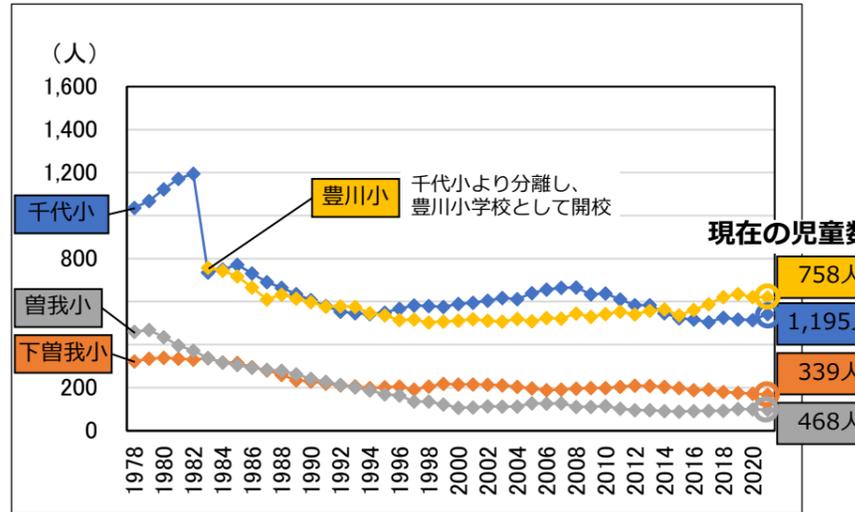
##### 中央地域



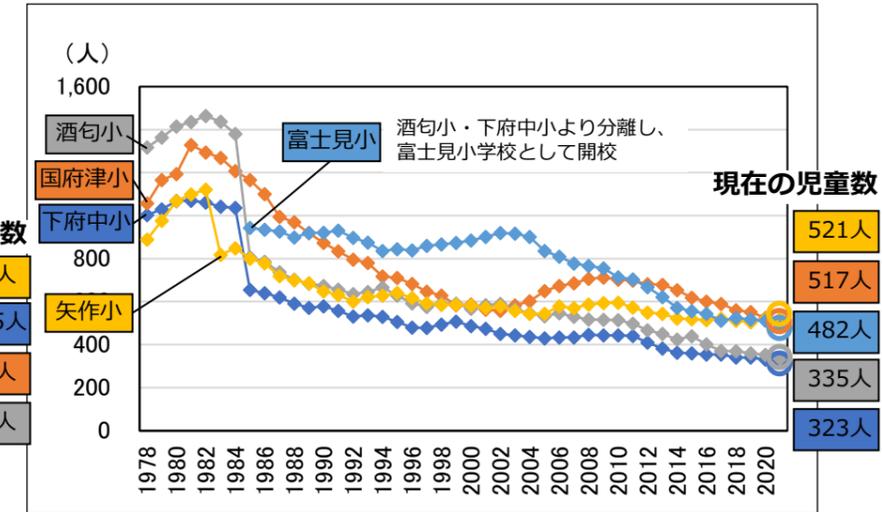
##### 富水・桜井地域



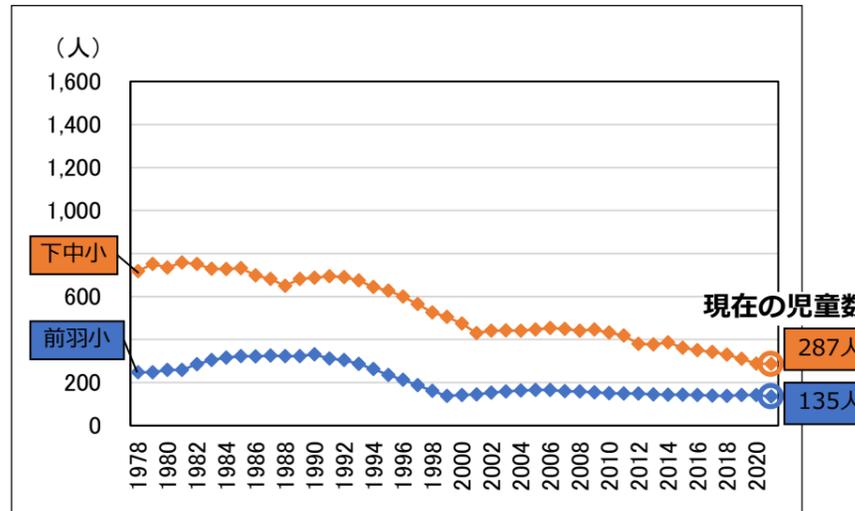
##### 川東北部地域



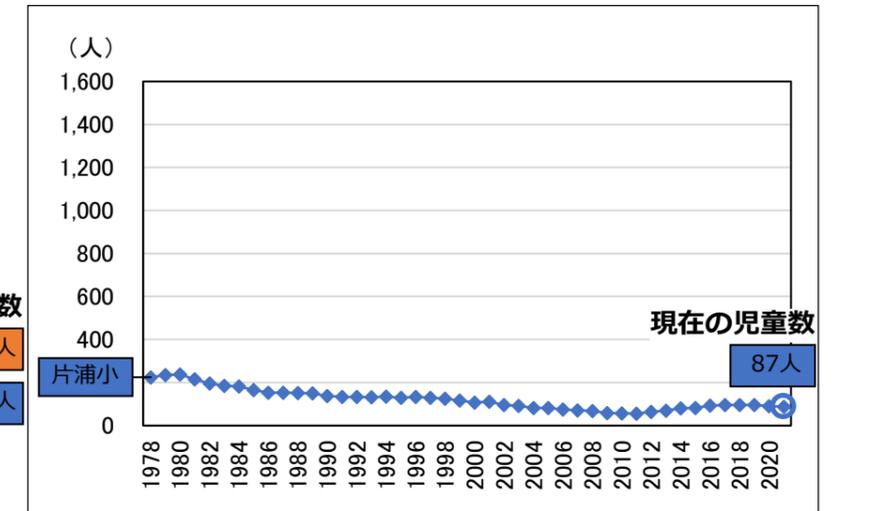
##### 川東南部地域



##### 橘地域



##### 片浦地域

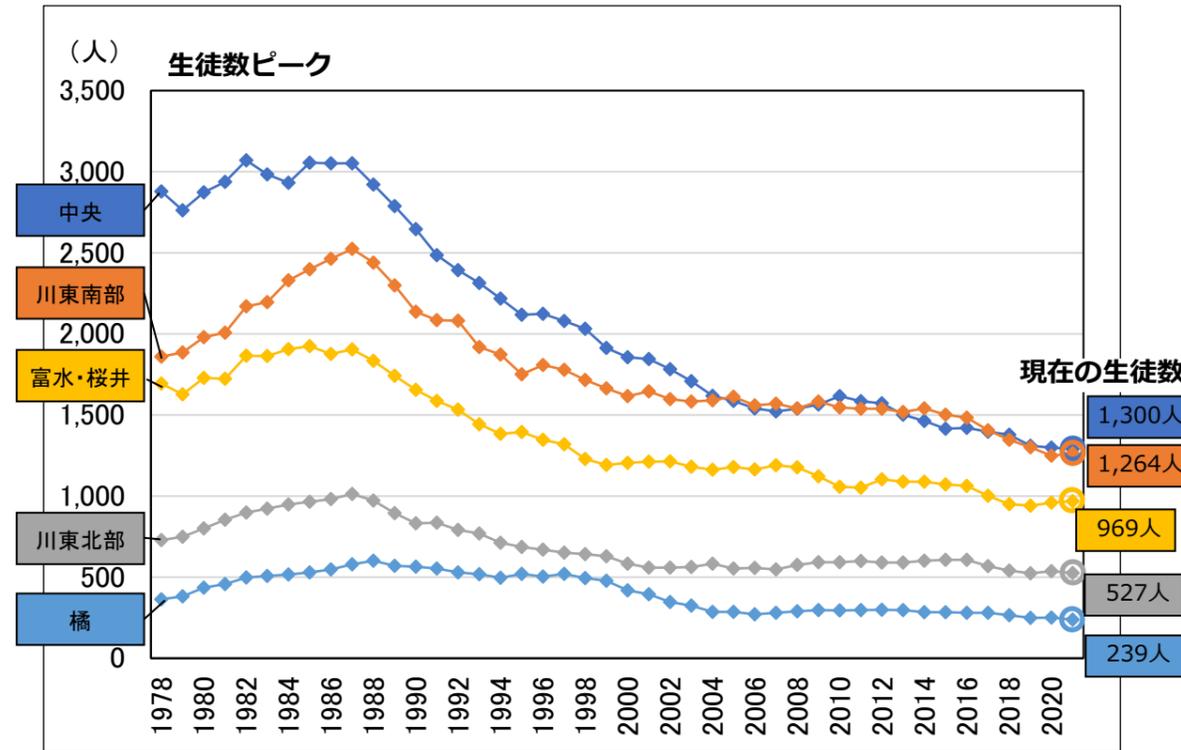


## 2.児童生徒数と学級数の推移

### (2) 地域別・学校別児童生徒数

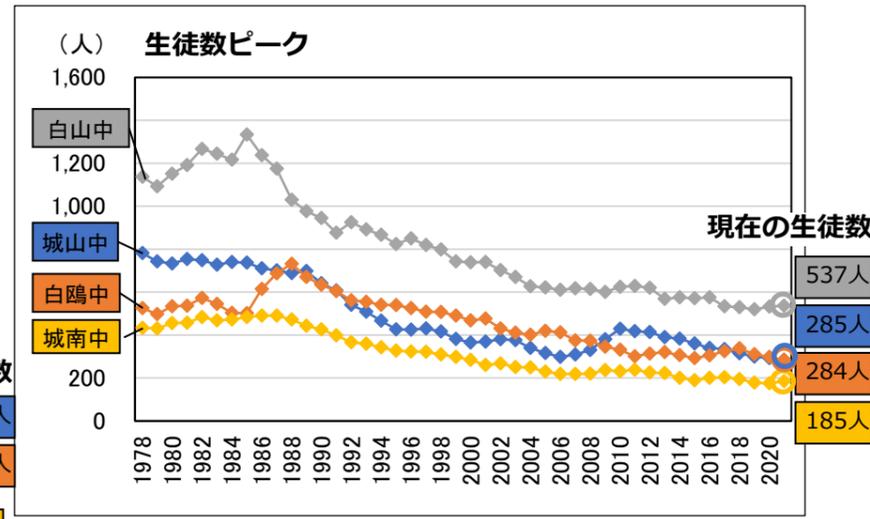
#### ② 中学校

##### ■ 地域別生徒数

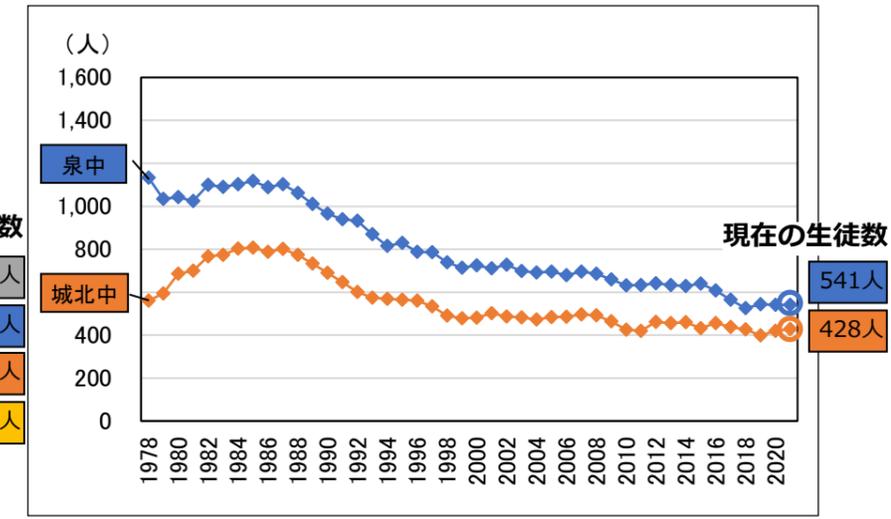


##### ■ 地域別学校別生徒数

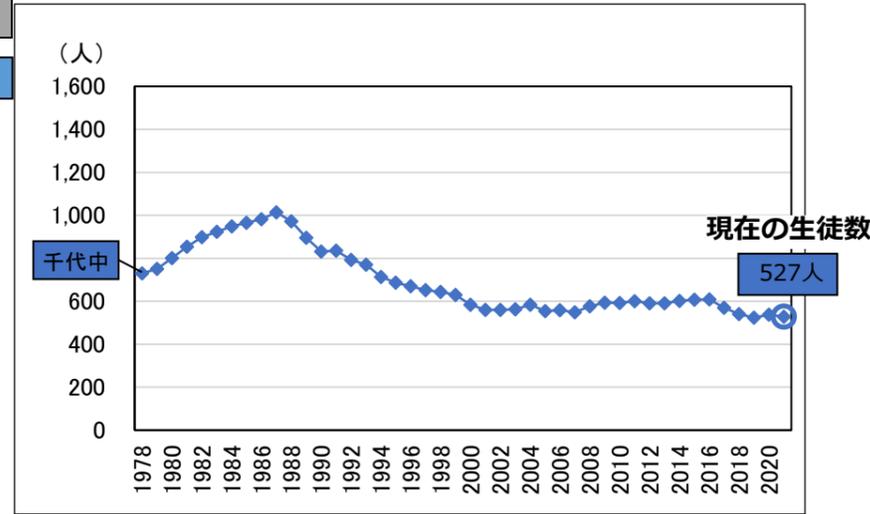
##### 中央地域



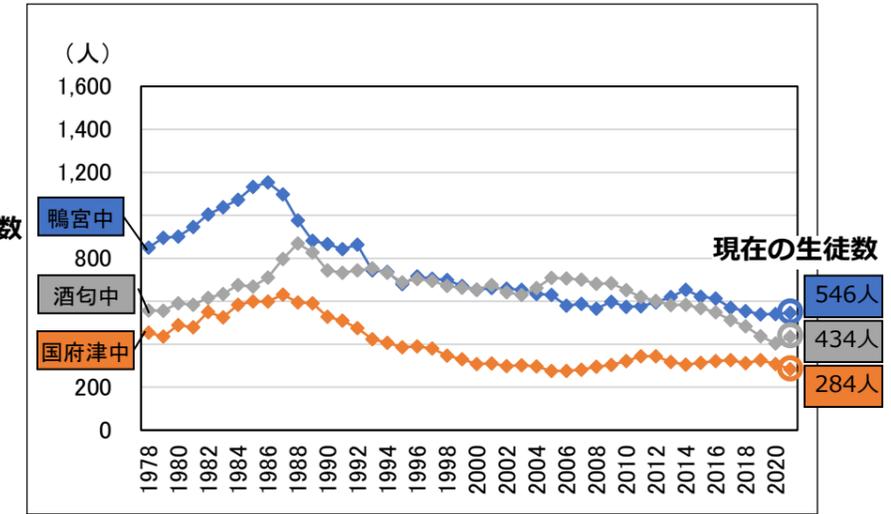
##### 富水・桜井地域



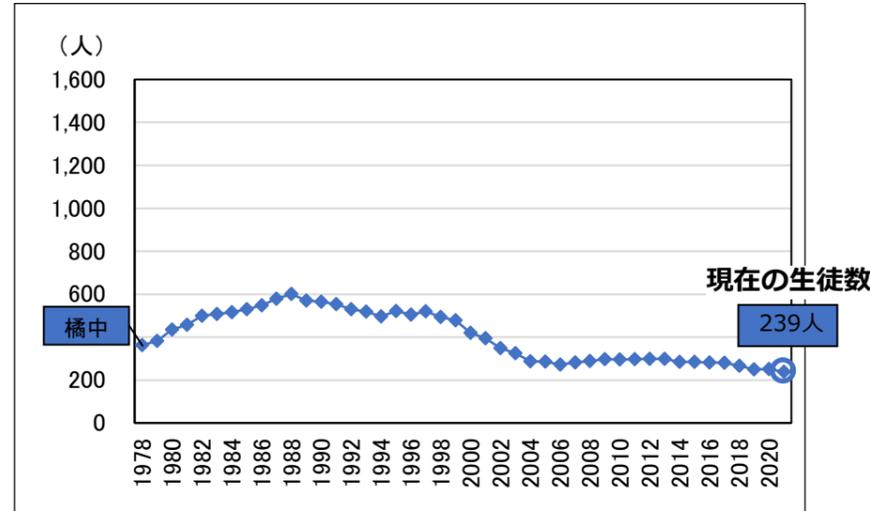
##### 川東北部地域



##### 川東南部地域

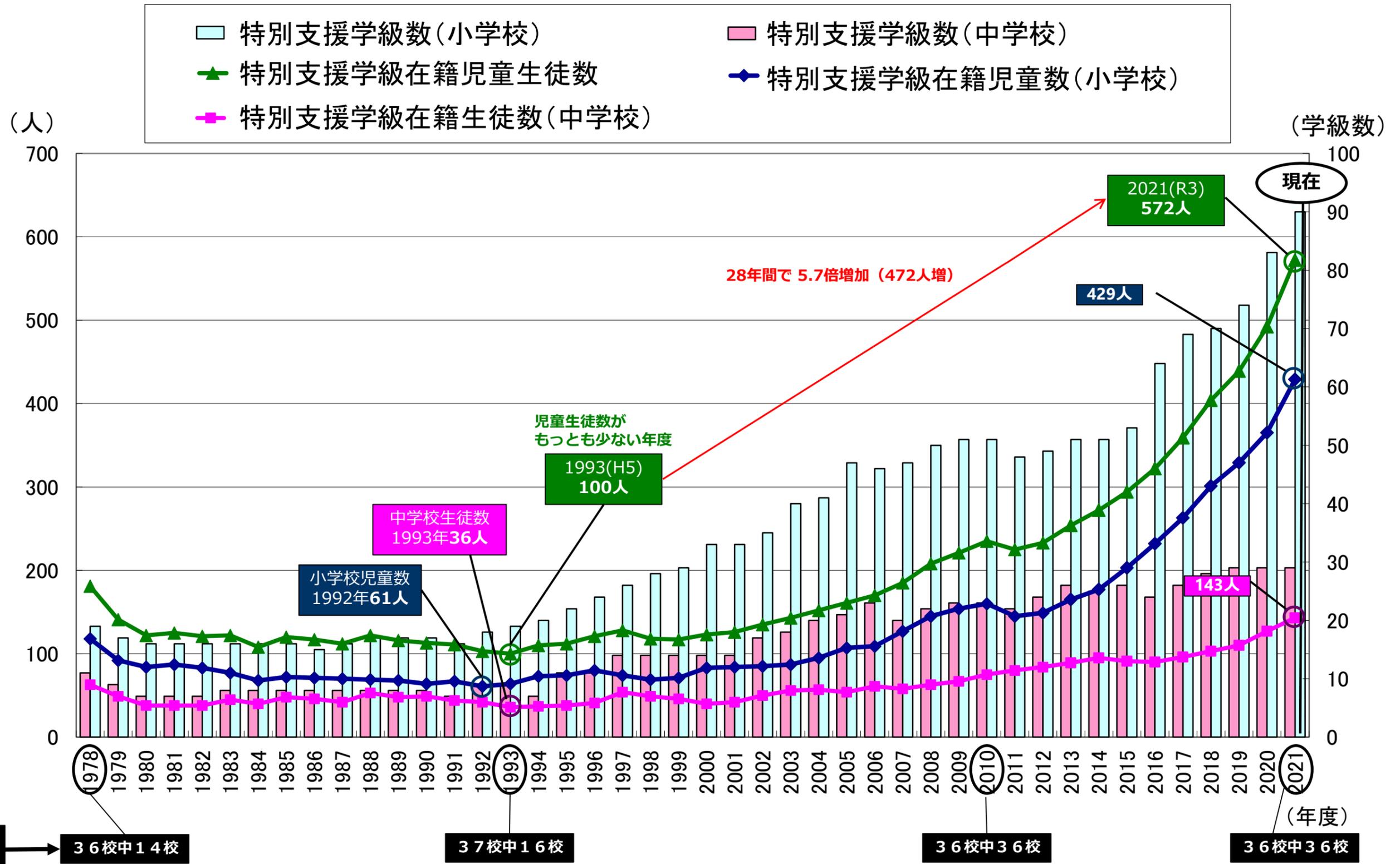


##### 橘地域



## 2.児童生徒数と学級数の推移

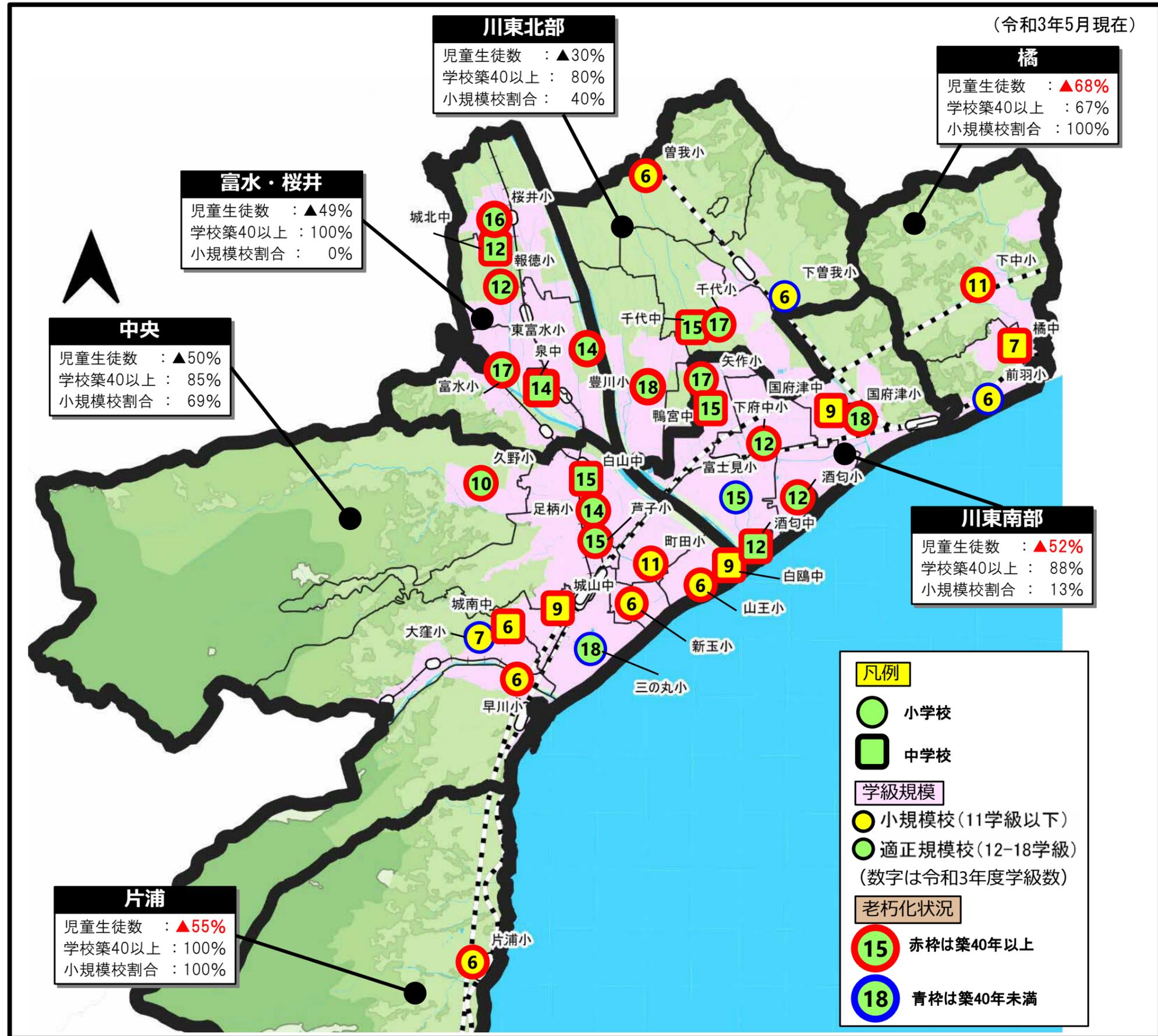
### (3) 支援を要する児童・生徒の状況



- 小田原市では、全ての小中学校に特別支援学級が設置されている。
- 特別支援学級に在籍する児童生徒数は1993(H5)年度の100人が最も少なく、その後、年々、増加していき、2021(R3)年度は572人となっている。28年間で5.7倍、472人増加している。

出典：2021年度まで実績値(毎年5月1日)

### 3. 現状のまとめ



※ 児童生徒数：児童生徒数のピーク（1982年）と現状の比較（減少率51%以上が赤字）